



2007年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

2006年 7月26日

上場会社名 株式会社メイテック

(コード番号：9744 東証名証 第1部)

(URL <http://www.meitec.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 西本 甲介
責任者役職・氏名 広報部長 足立 博之

(TEL：03-5413-2600)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表作成基準に準ずる)
 会計処理の方法の最近連結会計年度に : (有) (内容 税金費用は、簡便法により計算) ・ 無
 おける認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : (有) (内容 連結子会社2社増加、1社減少) ・ 無

2. 2007年3月期第1四半期の業績概況 (2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期(当期)純利益 | |
|---------------|--------|-----|--------|------|--------|------|------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2007年3月期第1四半期 | 21,060 | 5.8 | 2,956 | 13.9 | 2,931 | 11.8 | 1,651 | 29.2 |
| 2006年3月期第1四半期 | 19,909 | 9.7 | 2,595 | 7.9 | 2,621 | 7.1 | 1,278 | 11.9 |
| (参考)2006年3月期 | 83,223 | | 12,485 | | 12,562 | | 5,302 | |

| | 1株当たり四半期(当期)純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2007年3月期第1四半期 | 45.20 | 45.19 |
| 2006年3月期第1四半期 | 33.71 | 33.70 |
| (参考)2006年3月期 | 138.93 | 138.91 |

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

1) 市場の動向

派遣事業

[事業会社]: 株式会社メイテック、株式会社メイテックフィルダーズ、株式会社ジャパンキャスト、株式会社メイテックエキスパーツ

本業の技術者派遣事業を中心に、前期に引き続き、派遣事業全般において受注が好調である。主力の、電気・電子機器、自動車、半導体だけでなく、産業用機器・精密機器・情報通信機器からも堅調な受注が継続している。

エンジニアリングソリューション事業

[事業会社]: 株式会社スリーディーテック、アイエムエス株式会社、アポロ技研株式会社、上海阿波馬可科技有限公司、株式会社メイテックCAE

製造業の技術開発投資が堅調に推移している状況の中で、全般に受注は堅調であるが、コストと品質の両面からの顧客要求は、一層厳しくなる傾向にある。

グローバル事業

[事業会社]: 株式会社メイテックグローバルソリューションズ、明達科(上海)科技有限公司、明達科(大連)科技培訓有限公司、明達科(広州)科技培訓有限公司、浙江明達科網新科技培訓有限公司

当期より本格的に取り組むブリッジエンジニア事業(中国人エンジニアの国内派遣事業)の潜在需要を、今後は開拓していく。一方で、中国の技術系受託サービス企業を活用したオフショアリング型受託事業は、コストと品質の両面からの顧客要求に応えられるパートナー企業が限定され、受注拡大には至っていない。

キャリアサポート事業

[事業会社]: 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社、Novations Group Inc.、Novations Group, Inc.

再就職支援事業は、企業の人員削減を中心としたリストラに一服感があり、厳しい受注環境が継続している。

2)業績の概況

派遣事業

[事業会社]: 株式会社メイテック、株式会社メイテックフィルダーズ、株式会社ジャパンキャスト、株式会社メイテックエクスパーツ

第1四半期は、堅調な受注環境の中で、株式会社メイテック、株式会社メイテックフィルダーズ、株式会社ジャパンキャストは、3社ともに前年同期比増収増益(営業利益)を達成した。株式会社メイテックエクスパーツは、当期より事業を立ち上げていくが、第1四半期は、概ね、期初予算の範疇で推移している。

エンジニアリングソリューション事業

[事業会社]: 株式会社スリーディーテック、アイエムエス株式会社、アポロ技研株式会社、上海阿波馬可科技有限公司、株式会社メイテックCAE

第1四半期は、堅調な受注環境の中で、株式会社スリーディーテック、アイエムエス株式会社は、前年同期比増収増益(営業利益)を達成した。アポロ技研株式会社、上海阿波馬可科技有限公司は、現在、事業構造改革に取り組んでおり、当期中には黒字化(営業利益)する計画である。株式会社メイテックCAEは、当期からの新会社であるが、メイテック単体の解析事業を母体としているため、第1四半期は、概ね、期初予算の範疇で推移している。

グローバル事業

[事業会社]: 株式会社メイテックグローバルソリューションズ、明達科(上海)科技有限公司、明達科(大連)科技培訓有限公司、明達科(広州)科技培訓有限公司、浙江明達科網新科技培訓有限公司

株式会社メイテックグローバルソリューションズのブリッジエンジニア事業は、当期より事業を立ち上げていくが、第1四半期は、概ね、期初予算の範疇で推移している。その他の中国現地法人は、中国人エンジニアの研修事業が主体であり、日本へのブリッジエンジニアの供給拠点となるので、連結収益への貢献は低い。また、株式会社メイテックグローバルソリューションズのオフショアリング型受託事業は、営業的に注力していないので、特段の成長はしていない。

キャリアサポート事業

[事業会社]: 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社、Novations Group Inc.、Novations Group, Inc.

第1四半期は、Novations Group Inc.、Novations Group, Inc.の教育研修事業(米国)が苦戦しているが、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社は、黒字化(営業利益)したため、日本ドレーク・ビーム・モリン・グループとしては、黒字(営業利益)を確保している。

単体

第1四半期は、堅調な受注環境の中で、メイテック単体は、前年同期比増収増益(営業利益)を達成した。

連結

第1四半期は、主力の派遣事業が堅調に推移し、連結ベースで、前年同期比増収増益(営業利益)を達成した。

(参考1-1) 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社とその子会社の第1四半期経営成績等の概況
(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|---|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2007年3月期第1四半期 | 1,532 | 1.9 | 14 | - | 29 | 85.7 | 23 | 89.5 |

(参考1-2) 日本ドレーク・ビーム・モリン(単体)の第1四半期経営成績等の概況
(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2007年3月期第1四半期 | 813 | 13.8 | 46 | - | 50 | - | 60 | - |

(参考1-3) ノベーションズ・グループ・インクの第1四半期経営成績等の概況
(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2007年3月期第1四半期 | 718 | 7.9 | 32 | 66.5 | 79 | 37.0 | 61 | 52.2 |

(参考2) メイテック(単体)の第1四半期経営成績等の概況
(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-----|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2007年3月期第1四半期 | 15,322 | 2.3 | 2,692 | 6.5 | 3,212 | 13.4 | 2,073 | 26.7 |

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(参考3) メイテックグループの技術者派遣事業の状況

| | | | 第1四半期平均稼働率 及び6月末技術社員数 | |
|--|---------------------|---|--------------------------|---------------|
| | | | 2007年3月期第1四半期 | 2006年3月期第1四半期 |
| メイテック +メイテックフィルダーズ (ジャパンアウトソーシング)+ メイテックグローバルソリューションズ | 稼働率(全体) | % | 95.1 | 94.8 |
| | 稼働率(新入社員(新卒・中途)を除く) | % | 98.3 | 98.2 |
| | 6月末技術社員数(注) | 人 | 7,380 | 7,323 |
| メイテック | 稼働率(全体) | % | 95.8 | 95.4 |
| | 稼働率(新入社員(新卒・中途)を除く) | % | 98.5 | 98.1 |
| | 6月末技術社員数(注) | 人 | 5,919 | 5,951 |
| メイテックフィルダーズ (ジャパンアウトソーシング) | 稼働率(全体) | % | 92.9 | 91.9 |
| | 稼働率(新入社員(新卒・中途)を除く) | % | 98.8 | 98.9 |
| | 6月末技術社員数(注) | 人 | 1,430 | 1,372 |
| メイテックグローバルソリューションズ | 稼働率(全体) | % | 42.2 | - |
| | 稼働率(新入社員(新卒・中途)を除く) | % | 46.5 | - |
| | 6月末技術社員数(注) | 人 | 31 | - |

(注)株式会社メイテックの技術社員数において社内技術業務に従事している社内派遣者を控除しています。(2006年6月末現在23名)

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

| | 総資産 | 純資産 | 株主資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2007年3月期第1四半期 | 63,218 | 46,692 | 73.6 | 1,272.67 |
| 2006年3月期第1四半期 | 66,267 | 49,179 | 74.2 | 1,296.73 |
| (参考)2006年3月期 | 67,185 | 46,668 | 69.5 | 1,274.10 |

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|---------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2007年3月期第1四半期 | 1,546 | 78 | 1,684 | 13,976 |
| 2006年3月期第1四半期 | 225 | 302 | 1,135 | 15,209 |
| (参考)2006年3月期 | 9,373 | 894 | 8,133 | 17,275 |

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

1) 資産、負債及び資本の状況

2006年3月期末に比して総資産が39億66百万円減少しておりますが、賞与の支給、法人税等の納付、利益処分による社外流出の結果として、流動資産の現金及び預金が32億98百万円減少し、流動負債の未払費用が26億9百万円減少し、未払法人税等が22億79百万円減少したこと等を反映したものです。また、純資産の部については若干減少しておりますが、第1四半期の経営成績の結果による利益剰余金の増加効果が、前連結会計年度分の利益処分による利益剰余金の減少効果と相殺された結果です。

2) キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果使用した資金は15億46百万円となりました。これは主に税金等調整前第1四半期純利益が3億44百万円増加し29億44百万円(13.3%増)となったことに比して、法人税等の支払額が15億28百万円増加し35億72百万円(74.8%増)となったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は78百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は16億84百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は、2006年3月期末に比して32億98百万円減少し、139億76百万円となりました。

(参考 4) メイテック (単体) の財政状態の概況 (百万円未満切捨て)

| | 総 資 産 | 株 主 資 本 |
|---------------|--------|---------|
| | 百万円 | 百万円 |
| 2007年3月期第1四半期 | 66,313 | 47,480 |

3. 2007年3月期の連結業績予想 (2006年4月1日 ~ 2007年3月31日)

| | 予 想 売 上 高 | 予 想 営 業 利 益 | 予 想 経 常 利 益 | 予 想 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益 |
|-------|-----------|-------------|-------------|---------------|------------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 中 間 期 | 42,500 | 6,000 | 6,000 | 3,200 | 85.82 |
| 通 期 | 86,000 | 12,500 | 12,550 | 6,500 | 174.33 |

[業績予想に関する定性的情報等]

1) 連結予想

中間期・通期ともに、期初計画通りの進捗を予想しています。

2) 単体予想

中間期・通期ともに、期初計画通りの進捗を予想しています。

(参考5 - 1) 2007年3月期のグループ各社別業績予想 (2006年4月1日 ~ 2007年3月31日)

(百万円)

| | | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期利益 |
|-----|---------------------|--------|--------|--------|-------|
| 中間期 | メイテック | 30,500 | 5,150 | 5,650 | 3,300 |
| | メイテックフィルダース | 5,500 | 600 | 600 | 350 |
| | ジャパンキャスト | 1,950 | 110 | 110 | 65 |
| | メイテックエキスパーツ | 65 | 20 | 20 | 20 |
| | 3Dテック | 330 | 30 | 30 | 17 |
| | アイエムエス | 250 | 15 | 15 | 8 |
| | アポロ技研グループ | 650 | 15 | 15 | 10 |
| | メイテックC A E | 230 | 25 | 25 | 15 |
| | メイテックグローバルソリューションズ | 185 | 10 | 10 | 10 |
| | メイテック上海 | 20 | 7 | 7 | 7 |
| | メイテック大連 | 20 | 10 | 10 | 10 |
| | メイテック広州 | 12 | 15 | 15 | 15 |
| | 日本ドレーク・ビーム・モリンググループ | 3,150 | 200 | 180 | 100 |
| | 連結 | 42,500 | 6,000 | 6,000 | 3,200 |
| 通期 | メイテック | 61,500 | 10,500 | 11,000 | 6,050 |
| | メイテックフィルダース | 11,300 | 1,400 | 1,400 | 820 |
| | ジャパンキャスト | 4,150 | 250 | 250 | 150 |
| | メイテックエキスパーツ | 300 | 3 | 3 | 3 |
| | 3Dテック | 700 | 65 | 65 | 35 |
| | アイエムエス | 600 | 40 | 40 | 20 |
| | アポロ技研グループ | 1,355 | 15 | 15 | 10 |
| | メイテックC A E | 500 | 50 | 50 | 35 |
| | メイテックグローバルソリューションズ | 500 | 20 | 20 | 20 |
| | メイテック上海 | 70 | 10 | 10 | 10 |
| | メイテック大連 | 40 | 20 | 20 | 20 |
| | メイテック広州 | 25 | 25 | 25 | 25 |
| | 日本ドレーク・ビーム・モリンググループ | 5,950 | 255 | 220 | 55 |
| | 連結 | 86,000 | 12,500 | 12,550 | 6,500 |

(参考5 - 2) 2007年3月期の日本ドレーク・ビーム・モリンググループ各社別業績予想

(2006年4月1日 ~ 2007年3月31日)

(百万円)

| | | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期利益 |
|-----|---------------------|-------|------|------|------|
| 中間期 | 日本ドレーク・ビーム・モリン | 1,350 | 100 | 140 | 80 |
| | ノベーションズ・グループ・インク | 1,800 | 100 | 40 | 20 |
| | 日本ドレーク・ビーム・モリンググループ | 3,150 | 200 | 180 | 100 |
| 通期 | 日本ドレーク・ビーム・モリン | 2,150 | 5 | 90 | 15 |
| | ノベーションズ・グループ・インク | 3,800 | 250 | 130 | 40 |
| | 日本ドレーク・ビーム・モリンググループ | 5,950 | 255 | 220 | 55 |

(参考6) 2007年3月期のメイテック(単体)業績予想(2006年4月1日 ~ 2007年3月31日)

| | 予 想 売 上 高 | 予想営業利益 | 予想経常利益 | 予想当期純利益 | 1株当たり予想配当金 | | |
|-------|-----------|--------|--------|---------|------------|-------|-------|
| | | | | | 中間 | 期末 | 年間 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 中 間 期 | 30,500 | 5,150 | 5,650 | 3,300 | 44.00 | - | - |
| 通 期 | 61,500 | 10,500 | 11,000 | 6,050 | - | 45.00 | 89.00 |

1株当たり予想配当金については、連結ベースの予想当期純利益の50%の配当性向で試算しています。

4. 四半期連結財務諸表等

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 前第1四半期連結会計期間末 (2005年6月30日現在) | | | 当第1四半期連結会計期間末 (2006年6月30日現在) | | | 前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (2006年3月31日現在) <参考> | | |
|----------------------|---------------------------------|------------|--------|---------------------------------|------------|--------|--|------------|--------|
| | 金 額 | 構成比 | % | 金 額 | 構成比 | % | 金 額 | 構成比 | % |
| (資産の部) | | | | | | | | | |
| ・流動資産 | | | | | | | | | |
| 1.現金及び預金 | 16,709,117 | | | 16,076,417 | | | 19,375,399 | | |
| 2.受取手形及び売掛金 | 12,849,932 | | | 13,347,507 | | | 13,355,781 | | |
| 3.有価証券 | 2,077,777 | | | 1,964,915 | | | 2,030,899 | | |
| 4.たな卸資産 | 1,103,548 | | | 687,025 | | | 803,212 | | |
| 5.その他 | 3,407,148 | | | 3,422,703 | | | 3,591,175 | | |
| 6.貸倒引当金 | 126,259 | | | 29,844 | | | 29,583 | | |
| 流動資産合計 | | 36,021,264 | 54.4 | | 35,468,724 | 56.1 | | 39,126,885 | 58.2 |
| ・固定資産 | | | | | | | | | |
| (1)有形固定資産(注1) | | | | | | | | | |
| 1.建物及び構築物 | 11,102,210 | | | 10,420,046 | | | 10,577,284 | | |
| 2.工具器具備品 | 859,675 | | | 668,986 | | | 698,019 | | |
| 3.土地(注2) | 3,906,306 | | | 3,908,629 | | | 3,908,629 | | |
| 4.その他 | 21,746 | | | 31,489 | | | 31,249 | | |
| 有形固定資産合計 | 15,889,939 | | (23.9) | 15,029,152 | | (23.8) | 15,215,182 | | (22.7) |
| (2)無形固定資産 | | | | | | | | | |
| 1.のれん | - | | | 6,155,057 | | | - | | |
| 2.営業権 | 1,904,439 | | | - | | | 1,119,325 | | |
| 3.連結調整勘定 | 5,139,686 | | | - | | | 5,110,361 | | |
| 4.その他 | 763,702 | | | 813,596 | | | 815,069 | | |
| 無形固定資産合計 | 7,807,827 | | (11.8) | 6,968,654 | | (11.0) | 7,044,756 | | (10.5) |
| (3)投資その他の資産 | | | | | | | | | |
| 1.投資有価証券 | 2,593,833 | | | 1,521,466 | | | 1,613,806 | | |
| 2.土地再評価に係る繰延税金資産(注2) | 629,598 | | | 629,598 | | | 629,598 | | |
| 3.その他(注3) | 3,332,594 | | | 3,607,731 | | | 3,561,809 | | |
| 4.貸倒引当金 | 7,561 | | | 6,719 | | | 6,719 | | |
| 投資その他の資産合計 | 6,548,464 | | (9.9) | 5,752,076 | | (9.1) | 5,798,494 | | (8.6) |
| 固定資産合計 | | 30,246,232 | 45.6 | | 27,749,882 | 43.9 | | 28,058,433 | 41.8 |
| 資産合計 | | 66,267,497 | 100.0 | | 63,218,607 | 100.0 | | 67,185,318 | 100.0 |

(単位:千円)

| 科目 | 前第1四半期連結会計期間末 (2005年6月30日現在) | | | 当第1四半期連結会計期間末 (2006年6月30日現在) | | | 前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (2006年3月31日現在) <参考> | | |
|-----------------|---------------------------------|------------|-------|---------------------------------|------------|-------|--|------------|-------|
| | 金 | 額 | 構成比 | 金 | 額 | 構成比 | 金 | 額 | 構成比 |
| (負債の部) | | | % | | | % | | | % |
| 流動負債 | | | | | | | | | |
| 1. 買掛金 | 217 | | | 31,106 | | | 52,599 | | |
| 2. 未払費用 | 5,411,931 | | | 5,313,809 | | | 7,923,567 | | |
| 3. 未払法人税等 | 1,141,813 | | | 1,221,168 | | | 3,500,413 | | |
| 4. 未払消費税等 | 861,342 | | | 902,243 | | | 633,050 | | |
| 5. 役員賞与引当金 | - | | | 31,429 | | | - | | |
| 6. 海外事業損失引当金 | 95,247 | | | - | | | - | | |
| 7. その他 | 4,634,565 | | | 3,358,076 | | | 2,711,605 | | |
| 流動負債合計 | | 12,145,118 | 18.3 | | 10,857,832 | 17.2 | | 14,821,236 | 22.0 |
| 固定負債 | | | | | | | | | |
| 1. 退職給付引当金 | 4,796,019 | | | 5,615,293 | | | 5,429,933 | | |
| 2. その他 | 73,836 | | | 53,424 | | | 74,361 | | |
| 固定負債合計 | | 4,869,855 | 7.4 | | 5,668,717 | 8.9 | | 5,504,294 | 8.2 |
| 負債合計 | | 17,014,974 | 25.7 | | 16,526,550 | 26.1 | | 20,325,531 | 30.2 |
| (少数株主持分) | | | | | | | | | |
| 少数株主持分 | | 73,397 | 0.1 | | - | | | 191,587 | 0.3 |
| (資本の部) | | | | | | | | | |
| 資本金 | | 16,825,881 | 25.4 | | - | | | 16,825,881 | 25.0 |
| 資本剰余金 | | 15,480,597 | 23.3 | | - | | | 15,480,579 | 23.0 |
| 利益剰余金 | | 19,572,995 | 29.5 | | - | | | 16,227,580 | 24.2 |
| 土地再評価差額金(注2) | | 944,397 | 1.4 | | - | | | 944,397 | 1.4 |
| その他有価証券評価差額金 | | 171,934 | 0.3 | | - | | | 287,151 | 0.4 |
| 為替換算調整勘定 | | 45,740 | 0.1 | | - | | | 10,821 | 0.0 |
| 自己株式 | | 1,882,147 | 2.8 | | - | | | 1,197,775 | 1.7 |
| 資本合計 | | 49,179,125 | 74.2 | | - | | | 46,668,199 | 69.5 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | | 66,267,497 | 100.0 | | - | | | 67,185,318 | 100.0 |
| (純資産の部) | | | | | | | | | |
| 株主資本 | | | | | | | | | |
| 1. 資本金 | - | | | 16,825,881 | | | - | | |
| 2. 資本剰余金 | - | | | 15,480,579 | | | - | | |
| 3. 利益剰余金 | - | | | 16,059,638 | | | - | | |
| 4. 自己株式 | - | | | 1,181,027 | | | - | | |
| 株主資本合計 | | - | | | 47,185,072 | 74.6 | | - | |
| 評価・換算差額等 | | | | | | | | | |
| 1. その他有価証券評価差額金 | - | | | 222,154 | | | - | | |
| 2. 土地再評価差額金 | - | | | 944,397 | | | - | | |
| 3. 為替換算調整勘定 | - | | | 41,093 | | | - | | |
| 評価・換算差額等合計 | | - | | | 681,149 | 1.0 | | - | |
| 少数株主持分 | | - | | | 188,133 | 0.3 | | - | |
| 純資産合計 | | - | | | 46,692,056 | 73.9 | | - | |
| 負債純資産合計 | | - | | | 63,218,607 | 100.0 | | - | |

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

| 期 別 科 目 | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | | | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | | | 前連結会計年度の要約連結損益計算書 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) <参考> | | |
|-------------------------------|--|--------|-----|--|--------|-----|--|-----------|-----|
| | 金 額 | 百分比 | % | 金 額 | 百分比 | % | 金 額 | 百分比 | % |
| ・ 売 上 高 | 19,909,322 | 100.0 | % | 21,060,746 | 100.0 | % | 83,223,638 | 100.0 | % |
| ・ 売 上 原 価 | 13,878,040 | 69.7 | | 14,621,688 | 69.4 | | 56,685,125 | 68.1 | |
| ・ 売 上 総 利 益 | 6,031,282 | 30.3 | | 6,439,057 | 30.6 | | 26,538,512 | 31.9 | |
| ・ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 (注1) | 3,435,378 | 17.3 | | 3,482,399 | 16.6 | | 14,053,412 | 16.9 | |
| ・ 営 業 利 益 | 2,595,903 | 13.0 | | 2,956,658 | 14.0 | | 12,485,099 | 15.0 | |
| ・ 営 業 外 収 益 | | | | | | | | | |
| 1. 受 取 利 息 | 3,403 | | | 5,600 | | | 36,634 | | |
| 2. 受 取 配 当 金 | 8,022 | | | 4,061 | | | 9,802 | | |
| 3. 賃 貸 収 入 | 6,948 | | | 5,294 | | | 13,911 | | |
| 4. 雑 益 | 16,032 | 34,406 | 0.2 | 19,466 | 34,423 | 0.2 | 77,214 | 137,562 | 0.2 |
| ・ 営 業 外 費 用 | | | | | | | | | |
| 1. 支 払 利 息 | 0 | | | 133 | | | 2,753 | | |
| 2. 持分法による投資損失 | 3,510 | | | 4,108 | | | 15,153 | | |
| 3. コミットメントライン手数料 | 5,262 | | | 5,176 | | | 21,144 | | |
| 4. 雑 損 | 354 | 9,127 | 0.0 | 50,649 | 60,067 | 0.3 | 20,878 | 59,929 | 0.1 |
| ・ 経 常 利 益 | 2,621,183 | 13.2 | | 2,931,014 | 13.9 | | 12,562,731 | 15.1 | |
| ・ 特 別 利 益 | | | | | | | | | |
| 1. 投資有価証券売却益 | - | | | - | | | 55,797 | | |
| 2. 会 員 権 清 算 益 | 4,125 | | | - | | | 53,066 | | |
| 3. 貸倒引当金戻入益 | - | | | - | | | 1,306 | | |
| 4. 保 険 解 約 益 | - | | | - | | | 70 | | |
| 5. そ の 他 (注5) | 370 | 4,495 | 0.0 | 18,460 | 18,460 | 0.0 | 428,444 | 538,686 | 0.6 |
| ・ 特 別 損 失 | | | | | | | | | |
| 1. 固 定 資 産 売 却 損 (注2) | - | | | - | | | 16,849 | | |
| 2. 固 定 資 産 除 却 損 (注3) | 22,066 | | | 4,487 | | | 175,525 | | |
| 3. 投資有価証券評価損 | - | | | - | | | 1,127,940 | | |
| 4. 会 員 権 清 算 損 | 373 | | | - | | | 19,111 | | |
| 5. 会 員 権 評 価 損 | - | | | - | | | 2,550 | | |
| 6. 解 約 違 約 金 | 3,504 | | | - | | | 5,933 | | |
| 7. 営 業 権 減 損 損 失 | - | | | - | | | 886,547 | | |
| 8. そ の 他 | - | 25,944 | 0.1 | 591 | 5,078 | 0.0 | 850 | 2,235,307 | 2.6 |
| ・ 税 金 等 調 整 前 第1四半期(当期)純利益 | 2,599,733 | 13.1 | | 2,944,396 | 13.9 | | 10,866,110 | 13.1 | |
| ・ 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 (注4) | 1,319,238 | 6.7 | | 1,293,738 | 6.1 | | 5,584,523 | 6.7 | |
| ・ 少 数 株 主 利 益 | 2,152 | 0.0 | | 658 | 0.0 | | 20,595 | 0.0 | |
| ・ 第1四半期(当期)純利益(損失) | 1,278,343 | 6.4 | | 1,651,315 | 7.8 | | 5,302,182 | 6.4 | |

四半期連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|------------------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 平成18年3月31日残高 | 16,825,881 | 15,480,579 | 16,227,580 | 1,197,775 | 47,336,266 |
| 当四半期の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | - | - | 1,698,909 | - | 1,698,909 |
| 役員賞与 | - | - | 118,210 | - | 118,210 |
| 四半期純利益 | - | - | 1,651,315 | - | 1,651,315 |
| 自己株式の取得 | - | - | - | 811 | 811 |
| 自己株式の処分 | - | - | 2,137 | 17,559 | 15,422 |
| 株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額) | - | - | - | - | - |
| 当四半期の変動額合計 | - | - | 167,941 | 16,747 | 151,193 |
| 平成18年6月30日残高 | 16,825,881 | 15,480,579 | 16,059,638 | 1,181,027 | 47,185,072 |

(単位:千円)

| | 評価・換算差額等 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|------------------------|------------------|--------------|--------------|----------------|---------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 平成18年3月31日残高 | 287,151 | 944,397 | 10,821 | 668,067 | 191,587 | 46,859,786 |
| 当四半期の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | - | - | - | - | - | 1,698,909 |
| 役員賞与 | - | - | - | - | - | 118,210 |
| 四半期純利益 | - | - | - | - | - | 1,651,315 |
| 自己株式の取得 | - | - | - | - | - | 811 |
| 自己株式の処分 | - | - | - | - | - | 15,422 |
| 株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額) | 64,997 | - | 51,914 | 13,082 | 3,453 | 16,535 |
| 当四半期の変動額合計 | 64,997 | - | 51,914 | 13,082 | 3,453 | 167,729 |
| 平成18年6月30日残高 | 222,154 | 944,397 | 41,093 | 681,149 | 188,133 | 46,692,056 |

(参考)前第1四半期及び前連結会計年度の連結剰余金計算書

(単位:千円)

| 科目 | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | | 前連結会計年度の要約連結剰余金計算書 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) <参考> | |
|----------------|--|------------|---|------------|
| | 金 | 額 | 金 | 額 |
| (資本剰余金の部) | | | | |
| ・ 資本剰余金期首残高 | | 15,480,579 | | 15,480,579 |
| ・ 資本剰余金増加高 | | | | |
| 自己株式処分差損 | 17 | 17 | - | - |
| 資本剰余金 | | | | |
| ・ 第1四半期末(期末)残高 | | 15,480,597 | | 15,480,579 |
| (利益剰余金の部) | | | | |
| ・ 利益剰余金期首残高 | | 19,610,778 | | 19,610,778 |
| ・ 利益剰余金増加高 | | | | |
| 第1四半期(当期)純利益 | | 1,278,343 | | 5,302,182 |
| ・ 利益剰余金減少高 | | | | |
| 配当金 | 1,213,626 | | 2,843,659 | |
| 役員賞与 | 102,500 | | 102,500 | |
| 自己株式処分差損 | - | | 7,689 | |
| 自己株式消却額 | - | 1,316,126 | 5,731,532 | 8,685,381 |
| ・ 第1四半期末(期末)残高 | | 19,572,995 | | 16,227,580 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 期 別 科 目 | 前第1四半期連結会計期間 | 当第1四半期連結会計期間 | 前 連 結 会 計 年 度 の キャッシュ・フロー計算書の (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) <参考> |
|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|---|
| | (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 金 額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー: | | | |
| 税金等調整前第1四半期(当期)純利益 | 2,599,733 | 2,944,396 | 10,866,110 |
| 減価償却費 | 280,390 | 281,584 | 1,192,690 |
| のれん償却 | - | 68,940 | - |
| 連結調整勘定償却 | 66,749 | - | 271,674 |
| 営業権減損 | - | - | 886,547 |
| 営業権償却 | 7,500 | - | 30,000 |
| 投資有価証券評価損 | - | - | 1,127,940 |
| 役員賞与引当金の増減額(減少:) | - | 31,429 | 2,550 |
| 退職給付引当金の増減額(減少:) | 199,075 | 185,360 | 773,417 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(減少:) | 53,975 | - | 45,635 |
| 貸倒引当金の増減額(減少:) | 5,925 | 583 | 75,575 |
| 海外事業損失引当金の増減額(減少:) | - | - | 95,247 |
| 受取利息及び受取配当金 | 11,425 | 9,662 | 46,437 |
| 支払利息 | 0 | 133 | 2,753 |
| 為替差損 | 25,840 | 48,894 | - |
| 有価証券売却益 | - | - | 23,385 |
| 有価証券売却損 | - | - | 5,942 |
| 投資有価証券売却益 | - | - | 55,797 |
| 固定資産売却損 | - | - | 16,849 |
| 固定資産除却損 | 21,462 | 4,378 | 148,870 |
| 持分法による投資損益 | 3,510 | 4,108 | 15,153 |
| 投資事業組合運用損 | - | - | 29,734 |
| 役員権清算 | 4,125 | - | 53,066 |
| 役員権清算 | 373 | - | 19,111 |
| その他会 | - | - | 70 |
| 売上債権の増減額(増加:) | 401,654 | 2,238 | 52,435 |
| たな卸資産の増減額(増加:) | 67,528 | 116,188 | 192,831 |
| その他流動資産の増減額(増加:) | 200,713 | 160,219 | 321,301 |
| 仕入債務の増減額(減少:) | 213 | 21,495 | 57,382 |
| 未払消費税等の増減額(減少:) | 147,591 | 265,576 | 3,437 |
| 未払費用の増減額(減少:) | 2,448,621 | 2,607,126 | 86,594 |
| その他流動負債の増減額(減少:) | 571,200 | 686,838 | 1,430 |
| 長期未払金の増減額(減少:) | 15,717 | 25,385 | 1,426,993 |
| 役員賞与の支払額 | 102,500 | 118,210 | 43,700 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,807,795 | 2,017,825 | 102,500 |
| 利息の支払額 | 10,795 | 8,675 | 13,684,054 |
| 法人税等の支払額 | 0 | 133 | 44,709 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,043,716 | 3,572,689 | 2,753 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー: | 225,125 | 1,546,322 | 4,352,252 |
| 定期預金の預入による支出 | 400,000 | - | 9,373,758 |
| 定期預金の払戻による収入 | 300,000 | - | 1,001,000 |
| 有価証券の取得による支出 | - | - | 513,000 |
| 有価証券の売却による収入 | - | 50,000 | 599,875 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 177,272 | 24,302 | 415,668 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | - | 225,410 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 42,948 | 92,874 | 3,218 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | - | 305,305 |
| 投資その他の資産の取得による支出 | 39,824 | 31,433 | 188,731 |
| 投資その他の資産の売却による収入 | 57,622 | 19,214 | 124,953 |
| 貸付金の回収による収入 | - | 665 | 280,150 |
| 子会社株式の取得による支出 | - | - | 1,147 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 302,423 | 78,730 | 39,394 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー: | | | |
| 短期借入金の返済による支出 | - | - | 20,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | - | - | 214,702 |
| 自己株式の取得による支出 | 1,557 | 811 | 5,111,926 |
| 自己株式の売却による収入 | 295 | 15,422 | 55,796 |
| 親会社による配当金の支払額 | 1,134,247 | 1,699,217 | 2,842,959 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,135,509 | 1,684,606 | 8,133,792 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 11,159 | 10,678 | 68,448 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:) | 1,651,898 | 3,298,981 | 414,390 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 16,861,048 | 17,275,439 | 16,861,048 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 15,209,149 | 13,976,457 | 17,275,439 |

(注1)

第1四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|----------------|---|---|--|
| 1. 連結の範囲に関する事項 | <p>連結子会社 (12社)</p> <p>株式会社ジャパンアウトソーシング 株式会社ジャパンキャスト 株式会社メイテックグローバルソリューションズ 株式会社スリーディーテック アイエムエス株式会社 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社 日本キャリア・マスターズ株式会社 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:デラウェア州) Novations Performance Solutions, Ltd. (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド) 明達科(上海)諮詢有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司</p> <p>日本キャリア・マスターズ株式会社は、2005年5月1日付にて、株式会社ジャパンキャストに吸収合併されております。</p> | <p>連結子会社 (15社)</p> <p>株式会社メイテックフィルダース 株式会社ジャパンキャスト 株式会社メイテックエキスパーツ 株式会社メイテックグローバルソリューションズ 株式会社スリーディーテック アイエムエス株式会社 アポロ技研株式会社 株式会社メイテックCAE 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:デラウェア州) Novations Performance Solutions, Inc. (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド) 明達科(上海)科技有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司 明達科(広州)科技培訓有限公司 上海阿波馬可科技有限公司</p> <p>Novations Performance Solutions, (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド)は、休眠会社でありましたが、清算終了しております。 株式会社メイテックエキスパーツは、100%子会社として、2006年4月3日付にて新規設立しております。 株式会社メイテックCAEは、株式会社メイテックの解析ECを簡易分割することにより、100%子会社として、2006年4月1日付にて新規設立しております。</p> | <p>連結子会社 (14社)</p> <p>株式会社メイテックフィルダース 株式会社ジャパンキャスト 株式会社メイテックグローバルソリューションズ 株式会社スリーディーテック アイエムエス株式会社 アポロ技研株式会社 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク:デラウェア州) Novations Performance Solutions, Ltd. (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド) 明達科(上海)科技有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司 明達科(広州)科技培訓有限公司 上海阿波馬可科技有限公司</p> <p>明達科(上海)諮詢有限公司は、2005年8月15日付にてライセンス変更の認可を受け、明達科(上海)科技有限公司に組織変更しております。 アポロ技研株式会社は、2005年9月30日付にて第三者割当増資の引き受け及び払い込みにより、当社の子会社になっております。 また、アポロ技研株式会社が子会社になったことに伴い、その子会社である上海阿波馬可科技有限公司が子会社になっております。 株式会社ジャパンアウトソーシングは、2006年1月1日付にて株式会社メイテックフィルダースへ社名変更しております。 明達科(広州)科技培訓有限公司は、中国広東省広州市において、公興和投資顧問有限公司との合併(議決権比率94.9%)により2005年12月に新規設立しております。 損益のみを連結している会社(1社) 日本キャリア・マスターズ株式会社 日本キャリア・マスターズ株式会社は、2005年5月1日付にて株式会社ジャパンキャストが吸収合併しております。 ただし、当連結会計期間内に合併されたため、同社の合併前までの期間の損益を連結対象に含めております。</p> |

| | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|---------------------|---|---|--|
| 2. 持分法の適用に関する事項 | (1)持分法適用の関連会社(1社) 浙江明達科網新科技培訓有限公司 (2) 持分法適用会社のうち、第1四半期決算日が連結第1四半期決算日と異なる会社については、各社の第1四半期会計期間に係る財務諸表を使用しております。 | (1)持分法適用の関連会社(1社) 浙江明達科網新科技培訓有限公司 (2) 同左 | (1)持分法適用の関連会社(1社) 浙江明達科網新科技培訓有限公司 (2) 持分法適用会社のうち、決算日が連結決算日と異なる会社については、各社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。 |
| 3. 連結子会社の決算日等に関する事項 | 連結子会社の第1四半期決算日が連結第1四半期決算日と異なる会社は次のとおりであります。 会社名 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・デラウェア州) Novations Performance Solutions, Ltd. (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド) 明達科(上海)諮詢有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司 第1四半期決算日 3月31日 四半期連結財務諸表の作成に当たっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結第1四半期決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。 | 連結子会社の第1四半期決算日が連結第1四半期決算日と異なる会社は次のとおりであります。 会社名 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・デラウェア州) 明達科(上海)科技有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司 明達科(広州)科技培訓有限公司 上海阿波馬可科技有限公司 第1四半期決算日 3月31日 四半期連結財務諸表の作成に当たっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結第1四半期決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。 | 連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。 会社名 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・持株会社) Novations Group, Inc. (ノベーションズ・グループ・インク・デラウェア州) Novations Performance Solutions, Ltd. (ノベーションズ・パフォーマンス・ソリューションズ・リミテッド) 明達科(上海)科技有限公司 明達科(大連)科技培訓有限公司 明達科(広州)科技培訓有限公司 上海阿波馬可科技有限公司 決算日 12月31日 連結財務諸表の作成に当たっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。 |

| | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|-----------------|---|---|---|
| 4. 会計処理基準に関する事項 | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>有価証券 満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 四半期決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>デリバティブ 時価法</p> <p>たな卸資産 仕掛品 個別法による原価法 ただし、在外連結子会社については平均法に基づく低価法によっております。</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>有形固定資産 定率法 ただし、一部の建物及び在外子会社については定額法。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物及び構築物 7～50年 工具器具備品 3～15年</p> <p>無形固定資産 定額法 ただし、米国の連結子会社の営業権及び耐用年数が確定できない無形固定資産については、米国財務会計基準書第142号「営業権及びその他の無形固定資産」の適用により、償却は行わず、年一回及び減損の可能性を示す事象が発生した時点で、減損の有無について判定を行うこととしております。 これらの資産の公正価額は一般的に割引キャッシュ・フロー分析を用いた算定によります。</p> <p>長期前払費用 定額法</p> | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品 同左</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 定額法 ただし、米国の連結子会社のれん及び耐用年数が確定できない無形固定資産については、米国財務会計基準書第142号「営業権及びその他の無形固定資産」の適用により、償却は行わず、年一回及び減損の可能性を示す事象が発生した時点で、減損の有無について判定を行うこととしております。 これらの資産の公正価額は一般的に割引キャッシュ・フロー分析を用いた算定によります。</p> <p>長期前払費用 同左</p> | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>デリバティブ 時価法</p> <p>たな卸資産 仕掛品 同左</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 定額法 ただし、米国の連結子会社の営業権及び耐用年数が確定できない無形固定資産については、米国財務会計基準書第142号「営業権及びその他の無形固定資産」の適用により、償却は行わず、年一回及び減損の可能性を示す事象が発生した時点で、減損の有無について判定を行うこととしております。 これらの資産の公正価額は一般的に割引キャッシュ・フロー分析を用いた算定によります。</p> <p>長期前払費用 同左</p> |

| | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|--|---|--|--|
| | <p>(3) 重要な引当金の計上基準 貸倒引当金 売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 米国の連結子会社は売上債権の年齢に応じて一定率を計上しております。</p> <p>-</p> <p>海外事業損失引当金 一部の連結子会社において、海外事業の見直し及び一部事業の整理に伴う損失に備えるため、損失見込額を計上しております。</p> <p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生連結会計年度から費用処理しております。</p> <p>-</p> | <p>(3) 重要な引当金の計上基準 貸倒引当金 同左</p> <p>役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当第1四半期連結会計期間に見合う分を計上しております。 なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。</p> <p>-</p> <p>退職給付引当金 同左</p> <p>-</p> | <p>(3) 重要な引当金の計上基準 貸倒引当金 同左</p> <p>-</p> <p>海外事業損失引当金 一部の連結子会社において、海外事業の見直し及び一部事業の整理に伴う損失に備えるため、損失見込額を計上しております。</p> <p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生連結会計年度から費用処理しております。</p> <p>役員退職慰労引当金 一部の連結子会社において、役員退職慰労金の支払に備えるため、取締役及び監査役 の退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しております。 (追加情報) 一部の連結子会社において、役員退職慰労金の支払に備えるため、取締役及び監査役の退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しておりました。 しかしながら、当該連結子会社の定時株主総会において、当社グループの基本方針に基づき、役員退職慰労金制度を凍結しました。従って、株主総会決議以前の引当額を確定支払金額として未払金計上しており、新たな引当金の計上を取り止めております。</p> |

| | 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|---|---|--|---|
| | <p>(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準 外貨建金銭債権債務は、第1四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、第1四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における為替換算調整勘定に含めております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(6) 重要なヘッジ会計の方法 ヘッジ会計の方法 通貨スワップについては、振当処理の要件を満たす場合は振当処理を行っております。 ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 通貨スワップ取引 ヘッジ対象 外貨建貸付金 ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する権限規程及び取引限度額を定めた内部規定に基づき、外貨建貸付金に係る為替相場変動リスクをヘッジしております。 ヘッジ有効性評価の方法 通貨スワップについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の行使日、金額等の条件がほぼ同一であり、相関関係が高いことから、有効性の判定は省略しております。</p> <p>(7) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理 税抜方式</p> | <p>(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準 外貨建金銭債権債務は、第1四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、第1四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(6) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理 同左</p> | <p>(4) 連結財務諸表の作成の基礎となった連結会社の財務諸表の作成に当たって採用した重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準 外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における為替換算調整勘定に含めております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(6) 重要なヘッジ会計の方法 ヘッジ会計の方法 通貨スワップについては、振当処理の要件を満たす場合は振当処理を行っております。 ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 通貨スワップ取引 ヘッジ対象 外貨建貸付金 ヘッジ方針 デリバティブ取引に関する権限規程及び取引限度額を定めた内部規定に基づき、外貨建貸付金に係る為替相場変動リスクをヘッジしております。 ヘッジ有効性評価の方法 通貨スワップについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の行使日、金額等の条件がほぼ同一であり、相関関係が高いことから、有効性の判定は省略しております。</p> <p>(7) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理 同左</p> |
| 5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲 | 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 | 同左 | 連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 |

会計処理の変更

| 前連結会計年度 自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日 | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) |
|---|--|
| | <p>(役員賞与に関する会計基準) 当連結会計年度より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会 2005年11月29日 企業会計基準第4号)を適用しております。 この結果、従来の方法に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前第1四半期純利益は31,429千円減少しております。</p> |
| | <p>(連結貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等) 当連結会計年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 2005年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 2005年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。 これにより損益に与える影響はありません。 なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は、46,526,855千円であります。 連結財務諸表規則の改正による連結貸借対照表の表示に関する変更は以下のとおりであります。 1 前連結会計年度における「資本の部」は、当連結会計年度より「純資産の部」となり、「純資産の部」は、「株主資本」、「評価・換算差額等」及び「少数株主持分」に分類して表示しております。 2 前連結会計年度において区分掲記しておりました「少数株主持分」は、当連結会計年度より「純資産の部」の「少数株主持分」として表示しております。 3 前連結会計年度において区分掲記しておりました「資本金」、「資本剰余金」及び「利益剰余金」は、当連結会計年度においては、「株主資本」の内訳科目として表示しております。 4 前連結会計年度において「利益剰余金」の次に表示しておりました「その他有価証券評価差額金」、「土地再評価差額金」及び「為替換算調整勘定」は、当連結会計年度より「評価・換算差額等」の内訳科目として表示しております。</p> |
| | <p>(自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準等の一部改正) 当連結会計年度より、改正後の「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準」(企業会計基準委員会 最終改正 2005年12月27日 企業会計基準第1号)及び「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 最終改正 2005年12月27日 企業会計基準適用指針第2号)を適用しております。 これにより損益に与える影響はありません。 なお、連結財務諸表規則の改正による連結貸借対照表の表示に関する変更は以下のとおりであります。 前連結会計年度において資本に対する控除項目として「資本の部」の末尾に表示しておりました「自己株式」は、当連結会計年度より「株主資本」に対する控除項目として「株主資本」の末尾に表示しております。</p> |
| | <p>(連結株主資本等変動計算書に関する会計基準等) 当連結会計年度より、「株主資本等変動計算書に関する会計基準」(企業会計基準委員会 2005年12月27日 企業会計基準第6号)及び「株主資本等変動計算書に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 2005年12月27日 企業会計基準適用指針第9号)を適用しております。 連結財務諸表規則の改正によって、当連結会計年度より、「連結株主資本等変動計算書」を作成しております。 また、前連結会計年度まで作成しておりました「連結剰余金計算書」は、本改正によって廃止され、当連結会計年度より作成していません。</p> |

表示方法の変更

| 前連結会計年度 自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日 | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) |
|---|---|
| | <p>(連結貸借対照表における「のれん」の表示) 連結財務諸表規則の改正によって、当連結会計年度より、「無形固定資産」に区分掲記されていた「営業権」及び「連結調整勘定」は、「のれん」として表示されております。</p> |
| | <p>(連結キャッシュ・フロー計算書における「のれん」の表示) 連結財務諸表規則の改正によって、当連結会計年度より、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に区分掲記されていた「連結調整勘定償却額」は「のれん償却額」として表示されております。</p> |

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位:千円)

| 前第1四半期連結会計期間末 (2005年6月30日現在) | 当第1四半期連結会計期間末 (2006年6月30日現在) | 前連結会計年度末 (2006年3月31日現在) |
|--|---|--|
| 注1. 控除されている有形固定資産の減価償却累計額 13,533,277 | 注1. 控除されている有形固定資産の減価償却累計額 13,845,320 | 注1. 控除されている有形固定資産の減価償却累計額 13,658,635 |
| 注2. 土地再評価 「土地再評価に関する法律」(1998年3月31日公布法律第34号)及び「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」(1999年3月31日改正)に基づき事業用の土地の再評価を行っております。なお、当該評価差額に係る税金相当額を土地再評価に係る繰延税金資産として資産の部に計上し、これを控除した金額を土地再評価差額金として資本の部に計上しております。 再評価を行った年月日 2000年3月31日 再評価の方法 土地の再評価に関する法律施行令(1998年3月31日公布政令第119号)第2条第4号に定める地価税法(1991年法律第69号)第16条に規定する地価税の課税価格の計算の基礎となる土地の価額を算出するために国税庁長官が定めて公表した方法により算出した価額に基づいて、奥行価格補正等合理的な調整を行って算出しております。 再評価を行った土地の当第1四半期末における時価と再評価後の帳簿価格との差額 1,379,677 | 注2. 土地再評価 「土地再評価に関する法律」(1998年3月31日公布法律第34号)及び「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」(1999年3月31日改正)に基づき事業用の土地の再評価を行っております。なお、当該評価差額に係る税金相当額を土地再評価に係る繰延税金資産として資産の部に計上し、これを控除した金額を土地再評価差額金として純資産の部に計上しております。 再評価を行った年月日 同左 再評価の方法 同左 再評価を行った土地の当第1四半期末における時価と再評価後の帳簿価格との差額 1,542,658 | 注2. 土地再評価 「土地再評価に関する法律」(1998年3月31日公布法律第34号)及び「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」(1999年3月31日改正)に基づき事業用の土地の再評価を行っております。なお、当該評価差額に係る税金相当額を土地再評価に係る繰延税金資産として資産の部に計上し、これを控除した金額を土地再評価差額金として資本の部に計上しております。 再評価を行った年月日 同左 再評価の方法 同左 再評価を行った土地の当期末における時価と再評価後の帳簿価格との差額 1,542,658 |
| 注3. 関連会社に係るものは、次のとおりであります。 出 資 金 28,837 | 注3. 関連会社に係るものは、次のとおりであります。 出 資 金 16,113 | 注3. 関連会社に係るものは、次のとおりであります。 出 資 金 20,136 |
| 注4. 貸出コミットメント契約 当社は、資本効率の向上を図りつつ、必要な時に運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行7行及び取引生保2生保と貸出コミットメント契約を締結しております。 当第1四半期連結会計期間末における貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。 貸出コミットメントの総額 6,000,000 借入未実行残高 - 差 引 額 6,000,000 | 注4. 貸出コミットメント契約 当社は、資本効率の向上を図りつつ、必要な時に運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行及び取引生保2生保と貸出コミットメント契約を締結しております。 当第1四半期連結会計期間末における貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。 貸出コミットメントの総額 6,000,000 借入未実行残高 - 差 引 額 6,000,000 | 注4. 貸出コミットメント契約 同左 当連結会計年度末における貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。 貸出コミットメントの総額 6,000,000 借入未実行残高 - 差 引 額 6,000,000 |

(四半期連結損益計算書関係)

(単位:千円)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|--|---|---|
| 注1. 販売費及び一般管理費 主要な費目及び金額は次のとおりであります。 報酬、給与及び賞与 1,425,877 退職給付費用 26,455 地代家賃 176,349 減価償却費 256,917 連結調整勘定償却額 66,749 | 注1. 販売費及び一般管理費 主要な費目及び金額は次のとおりであります。 報酬、給与及び賞与 1,454,274 退職給付費用 33,502 地代家賃 210,093 減価償却費 255,784 のれん償却額 68,940 | 注1. 販売費及び一般管理費 主要な費目及び金額は次のとおりであります。 報酬、給与及び賞与 5,779,321 退職給付費用 159,297 役員退職慰労引当金繰入額 1,778 地代家賃 717,310 減価償却費 1,093,669 連結調整勘定償却額 271,674 研究開発費 47,145 |
| 注2. | 注2. | 注2. 固定資産売却損 工具器具備品 16,849 |
| 注3. 固定資産除却損 建物及び構築物 16,401 工具器具備品 3,068 附帯費用 2,372 無形固定資産(その他) 224 | 注3. 固定資産除却損 建物及び構築物 2,609 工具器具備品 702 附帯費用 786 | 注3. 固定資産除却損 建物及び構築物 76,102 工具器具備品 44,349 有形固定資産(その他) 4,974 附帯費用 26,655 無形固定資産(その他) 22,443 |
| 注4. 法人税等の表示方法 当第1四半期連結会計期間における税金費用については、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。 | 注4. 法人税等の表示方法 当第1四半期連結会計期間における税金費用については、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。 | 注4. |
| 注5. | 注5. | 注5. その他(海外事業整理益) 日本ドレーク・ヒーム・モリン株式会社の米子会社 Novations Group Inc. (ノベーションズ・グループ・インク: 持株会社)の業績不振に伴う、リストラ関連の整理益であります。 既に前連結会計年度において事業再編及び撤退する事業に関する営業権の減損及びその他の事業整理に関する損失について、海外事業整理損を計上しており、前連結会計年度においては、未確定のため計上していなかったリストラに伴う利益を確定に伴い計上しております。 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

(単位:千円)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) |
|---|---|--|
| 注1. 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (2005年6月30日現在) 現金及び預金勘定 16,709,117 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,700,000 取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券) 200,032 現金及び現金同等物 15,209,149 | 注1. 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (2006年6月30日現在) 現金及び預金勘定 16,076,417 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 2,200,000 取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券) 100,040 現金及び現金同等物 13,976,457 | 注1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (2006年3月31日現在) 現金及び預金勘定 19,375,399 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 2,200,000 取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券) 100,040 現金及び現金同等物 17,275,439 |

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント

前第1四半期連結会計期間(自 2005年4月1日 至 2005年6月30日)

(単位:千円)

| | アウトソーシング | 研修事業 | アウトプレースメント | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|----------------------|------------|---------|------------|------------|----------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 18,414,466 | 780,420 | 714,436 | 19,909,322 | | 19,909,322 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,297 | | 757 | 5,055 | (5,055) | |
| 計 | 18,418,763 | 780,420 | 715,194 | 19,914,377 | (5,055) | 19,909,322 |
| 営業費用 | 15,533,920 | 876,167 | 841,637 | 17,251,724 | 61,694 | 17,313,418 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,884,843 | 95,747 | 126,443 | 2,662,653 | (66,749) | 2,595,903 |

(注) 1.事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

2.各区分の主な事業内容

アウトソーシング …… エンジニアリングアウトソーシングを中心とした各種アウトソーシング事業

研修事業 …… 研修、コンサルティング、研修用教材販売事業

アウトプレースメント …… 再就職支援事業

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用 66,749千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

当第1四半期連結会計期間(自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

(単位:千円)

| | 派遣事業 | エンジニアリングソリューション事業 | グローバル事業 | キャリアサポート事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-------------------|---------|------------|------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 18,879,528 | 605,674 | 44,889 | 1,530,654 | 21,060,746 | | 21,060,746 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 27,406 | 100,970 | 12,518 | 2,032 | 142,928 | (142,928) | |
| 計 | 18,906,935 | 706,645 | 57,408 | 1,532,686 | 21,203,674 | (142,928) | 21,060,746 |
| 営業費用 | 15,883,592 | 677,996 | 98,830 | 1,518,639 | 18,179,059 | (74,970) | 18,104,088 |
| 営業利益又は営業損失() | 3,023,342 | 28,648 | 41,422 | 14,047 | 3,024,615 | (67,957) | 2,956,658 |

(注) 1.事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

2.各区分の主な事業内容

派遣事業 …… 技術者派遣事業中心としたフルライン型派遣事業

エンジニアリングソリューション事業 …… 顧客である製造業に付帯する事業を中心としたサービスコンテンツ事業

グローバル事業 …… 主に中国における技術者教育を中心とした人材育成事業

キャリアサポート事業 …… 再就職支援事業を中心とした人材関連事業

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用68,940千円の内訳はのれん償却額であります。

4.第1四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の「4.会計処理基準に関する事項」の「(3)重要な引当金の計上基準」及び会計処理の変更に関する記載のとおり、当連結会計年度より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会 2005年11月29日 企業会計基準第4号)を適用しております。この結果、前連結会計年度と同一の方法によった場合に比べ、「派遣事業」においては営業費用が31,429千円増加し、営業利益が31,429千円減少しております。また、その他の事業である「エンジニアリングソリューション事業」、「グローバル事業」、及び「キャリアサポート事業」においては影響はありません。

前連結会計年度(自 2005年4月1日 至 2006年3月31日)

(単位:千円)

| | アウトソーシング | 研修事業 | アウトプレースメント | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|----------------------|------------|-----------|------------|------------|--------------|------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 76,465,007 | 4,217,131 | 2,541,499 | 83,223,638 | | 83,223,638 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 16,054 | | 32,454 | 48,509 | (48,509) | |
| 計 | 76,481,061 | 4,217,131 | 2,573,954 | 83,272,147 | (48,509) | 83,223,638 |
| 営業費用 | 63,719,354 | 4,005,915 | 2,790,102 | 70,515,373 | 223,165 | 70,738,538 |
| 営業利益又は営業損失() | 12,761,706 | 211,215 | 216,148 | 12,756,774 | (271,674) | 12,485,099 |
| 資産、減価償却費及び資本的支出 | | | | | | |
| 資産 | 71,758,611 | 2,631,083 | 9,247,399 | 83,637,094 | (16,451,776) | 67,185,318 |
| 減価償却費 | 1,028,937 | 60,763 | 102,789 | 1,192,690 | | 1,192,690 |
| 資本的支出 | 371,401 | 53,038 | 13,274 | 437,714 | | 437,714 |

(注) 1.事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

2.各区分の主な事業内容

アウトソーシング …… エンジニアリングアウトソーシングを中心とした各種アウトソーシング事業

研修事業 …… 研修、コンサルティング、研修用教材販売事業

アウトプレースメント …… 再就職支援事業

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用271,674千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は連結調整勘定5,110,361千円であります。

4.「資本的支出」には長期前払費用を含んでおります。

なお、当期よりセグメントの区分を事業領域の拡大にともない変更しております。

上記の前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の数値は新しいセグメントに置きなおして表示しております。

従来のセグメントにより前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度について既に開示しているデータを以降に参考としてお知らせいたします。

(事業区分の変更)

従来、事業区分については「アウトソーシング」「研修事業」「アウトプレースメント」の3つの区分にて表示していましたが、当第1四半期連結会計期間から「派遣事業」「エンジニアリングソリューション事業」「グローバル事業」「キャリアサポート事業」の4つの区分に変更いたしました。事業区分の変更については、当社グループの事業内容の拡大に伴い事業区分の再検討を行った結果、従来は「アウトソーシング」の中に含めておりました主要顧客である製造業に付帯する事業のサービスコンテンツとしてのラインナップの充実に伴い、該当事業を「エンジニアリングソリューション事業」と区分し、また、従来「アウトソーシング」や「研修事業」の一部に含めておりました、主に中国に関連した技術者教育等といった、海外の人的資源を当社グループの事業と積極的に連携することにより、グローバルな人的資源を事業戦力として創造すると共に、これを活かして日本国内の事業強化をも図ることにより、国内外の共生と繁栄を目指す事業を「グローバル事業」と区分いたしました。なお、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度において当第1四半期連結会計期間より変更した事業区分により表示した場合の事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

前第1四半期連結会計期間(自 2005年4月1日 至 2005年6月30日)

(単位:千円)

| | 派遣事業 | エンジニアリング ソリューション事業 | グローバル 事業 | キャリアサポート 事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-----------------------|-------------|----------------|------------|----------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 18,255,153 | 138,230 | 21,082 | 1,494,856 | 19,909,322 | | 19,909,322 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 17,959 | 65,540 | 8,020 | | 91,520 | (91,520) | |
| 計 | 18,273,112 | 203,770 | 29,103 | 1,494,856 | 20,000,843 | (91,520) | 19,909,322 |
| 営業費用 | 15,426,878 | 191,111 | 43,697 | 1,679,470 | 17,341,157 | (27,738) | 17,313,418 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,846,233 | 12,658 | 14,593 | 184,613 | 2,659,685 | (63,781) | 2,595,903 |

(注) 1.事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

2.各区分の主な事業内容

- 派遣事業 …… 技術者派遣事業中心としたフルライン型派遣事業
- エンジニアリングソリューション事業 …… 顧客である製造業に付帯する事業を中心としたサービスコンテンツ事業
- グローバル事業 …… 主に中国における技術者教育を中心とした人材育成事業
- キャリアサポート事業 …… 再就職支援事業を中心とした人材関連事業

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用66,749千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

前連結会計年度(自 2005年4月1日 至 2006年3月31日)

(単位:千円)

| | 派遣事業 | エンジニアリング ソリューション事業 | グローバル 事業 | キャリアサポート 事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-----------------------|-------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 75,008,122 | 1,288,540 | 173,063 | 6,753,912 | 83,223,638 | | 83,223,638 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 106,560 | 276,800 | 51,573 | | 434,934 | (434,934) | |
| 計 | 75,114,682 | 1,565,341 | 224,636 | 6,753,912 | 83,658,572 | (434,934) | 83,223,638 |
| 営業費用 | 62,333,714 | 1,541,651 | 338,620 | 6,727,174 | 70,941,161 | (202,622) | 70,738,538 |
| 営業利益又は営業損失() | 12,780,968 | 23,689 | 113,984 | 26,738 | 12,717,411 | (232,312) | 12,485,099 |
| 資産、減価償却費及び資本的支出 | | | | | | | |
| 資産 | 71,204,476 | 1,051,078 | 479,344 | 6,739,329 | 79,474,229 | (12,288,911) | 67,185,318 |
| 減価償却費 | 1,013,707 | 11,284 | 4,447 | 163,250 | 1,192,690 | | 1,192,690 |
| 資本的支出 | 356,826 | 11,713 | 12,025 | 57,148 | 437,714 | | 437,714 |

(注) 1.事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

2.各区分の主な事業内容

- 派遣事業 …… 技術者派遣事業中心としたフルライン型派遣事業
- エンジニアリングソリューション事業 …… 顧客である製造業に付帯する事業を中心としたサービスコンテンツ事業
- グローバル事業 …… 主に中国における技術者教育を中心とした人材育成事業
- キャリアサポート事業 …… 再就職支援事業を中心とした人材関連事業

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用 271,674千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は連結調整勘定5,110,361千円であります。

4.「資本的支出」には長期前払費用を含んでおります。

2 所在地別セグメント

前第1四半期連結会計期間(自 2005年4月1日 至 2005年6月30日)

(単位:千円)

| | 日本 | 北米 | 中国 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|----------------------|------------|---------|-------|------------|----------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 19,124,687 | 780,420 | 4,214 | 19,909,322 | | 19,909,322 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | | | | | | |
| 計 | 19,124,687 | 780,420 | 4,214 | 19,909,322 | | 19,909,322 |
| 営業費用 | 16,363,261 | 876,167 | 7,240 | 17,246,669 | 66,749 | 17,313,418 |
| 営業利益又は営業損失() | | | | 2,662,653 | (66,749) | 2,595,903 |

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2.本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用 66,749千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

当第1四半期連結会計期間(自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

(単位:千円)

| | 日本 | 北米 | 中国 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|----------------------|------------|---------|--------|------------|----------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 20,330,150 | 718,818 | 11,777 | 21,060,746 | | 21,060,746 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | | | 9,350 | 9,350 | (9,350) | |
| 計 | 20,330,150 | 718,818 | 21,128 | 21,070,097 | (9,350) | 21,060,746 |
| 営業費用 | 17,250,779 | 750,859 | 42,859 | 18,044,498 | 59,589 | 18,104,088 |
| 営業利益又は営業損失() | | | | 3,025,598 | (68,940) | 2,956,658 |

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2.本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用68,940千円の内訳はのれん償却額であります。

4.第1四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の「4.会計処理基準に関する事項」の「(3)重要な引当金の計上基準」、及び会計処理の変更に記載のとおり、当連結会計年度より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会 2005年11月29日企業会計基準第4号)を適用しております。この結果、前連結会計年度と同一の方法によった場合に比べ、「日本」においては営業費用が31,429千円増加し、営業利益が31,429千円減少しております。また、その他の地域である「北米」、及び「中国」においては影響はありません。

前連結会計年度(自 2005年4月1日 至 2006年3月31日)

(単位:千円)

| | 日本 | 北米 | 中国 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|----------------------|------------|-----------|---------|------------|-------------|------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 78,971,646 | 4,212,413 | 39,578 | 83,223,638 | | 83,223,638 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | | | 26,343 | 26,343 | (26,343) | |
| 計 | 78,971,646 | 4,212,413 | 65,922 | 83,249,981 | (26,343) | 83,223,638 |
| 営業費用 | 66,417,586 | 3,970,964 | 104,656 | 70,493,207 | 245,330 | 70,738,538 |
| 営業利益又は営業損失() | 12,554,060 | 241,448 | 38,734 | 12,756,774 | (271,674) | 12,485,099 |
| 資産 | 69,753,033 | 2,436,535 | 358,144 | 72,547,713 | (5,362,395) | 67,185,318 |

(注) 1.国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

2.本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容

営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用271,674千円の内訳は連結調整勘定償却額であります。

資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は連結調整勘定5,110,361千円であります。

3 海外売上高

前第1四半期連結会計期間(自 2005年4月1日 至 2005年6月30日)

(単位:千円)

| | 北米 | 中国 | 計 |
|----------------------|---------|-------|------------|
| 海外売上高 | 780,420 | 4,214 | 784,634 |
| 連結売上高 | | | 19,909,322 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 3.9% | 0.0% | 3.9% |

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2.本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3.海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結会計期間(自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

(単位:千円)

| | 北米 | 中国 | 計 |
|----------------------|---------|--------|------------|
| 海外売上高 | 718,818 | 11,777 | 730,596 |
| 連結売上高 | | | 21,060,746 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 3.4% | 0.0% | 3.4% |

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2.本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3.海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前連結会計年度(自 2005年4月1日 至 2006年3月31日)

(単位:千円)

| | 北米 | 中国 | 計 |
|----------------------|-----------|--------|------------|
| 海外売上高 | 4,212,413 | 65,922 | 4,278,335 |
| 連結売上高 | | | 83,223,638 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 5.0% | 0.0% | 5.1% |

(注) 1. 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

中国

3. 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(1株当たり情報)

(単位:円)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) | |
|--|----------|--|----------|---|----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,296.73 | 1株当たり純資産額 | 1,272.67 | 1株当たり純資産額 | 1,274.10 |
| 1株当たり第1四半期純利益金額 | 33.71 | 1株当たり第1四半期純利益金額 | 45.20 | 1株当たり当期純利益金額 | 138.93 |
| 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益金額 | 33.70 | 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益金額 | 45.19 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 138.91 |

(注) 算定上の基礎

1.1株当たり純資産額

| 前第1四半期連結会計期間末 (2005年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間末 (2006年6月30日) | | 前連結会計年度末 (2006年3月31日) | |
|---|---|---|------------|---|---|
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円) | - | 連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円) | 46,692,056 | 連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円) | - |
| 普通株式に係る純資産額(千円) | - | 普通株式に係る純資産額(千円) | 46,503,923 | 普通株式に係る純資産額(千円) | - |
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額(千円) | - | 連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額(千円) | 188,133 | 連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額(千円) | - |
| 普通株式の発行済株式数(千株) | - | 普通株式の発行済株式数(千株) | 36,841 | 普通株式の発行済株式数(千株) | - |
| 普通株式の自己株式数(千株) | - | 普通株式の自己株式数(千株) | 301 | 普通株式の自己株式数(千株) | - |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株) | - | 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株) | 36,540 | 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株) | - |

2.1株当たり第1四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益

| 前第1四半期連結会計期間 (自 2005年4月 1日 至 2005年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日) | | 前連結会計年度 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日) | |
|--|-------------------------------|--|-------------------------------|---|-------------------------------|
| 連結損益計算書上の第1四半期純利益(千円) | 1,278,343 | 連結損益計算書上の第1四半期純利益(千円) | 1,651,315 | 連結損益計算書上の当期純利益(千円) | 5,302,182 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)(利益処分による役員賞与) | - | 普通株主に帰属しない金額(千円)(利益処分による役員賞与) | - | 普通株主に帰属しない金額(千円)(利益処分による役員賞与) | 118,210 |
| 普通株式に係る第1四半期純利益(千円) | 1,278,343 | 普通株式に係る第1四半期純利益(千円) | 1,651,315 | 普通株式に係る当期純利益(千円) | 5,183,972 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 37,925 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 36,536 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 37,313 |
| 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(千株)(新株予約権) | 4 | 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(千株)(新株予約権) | 1 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(千株)(新株予約権) | 4 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | | 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | | 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | |
| 1998年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 5,530円 対象株式数 11,300株 | 1998年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 5,530円 対象株式数 6,300株 | 1998年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 5,530円 対象株式数 6,300株 |
| 1999年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 3,997円 対象株式数 14,000株 | 1999年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 3,997円 対象株式数 6,500株 | 1999年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 3,997円 対象株式数 6,500株 |
| 2000年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 18,500株 | 2000年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 11,000株 | 2000年6月29日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 11,000株 |
| 2001年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 19,500株 | 2001年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 12,000株 | 2001年6月26日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,280円 対象株式数 12,000株 |
| 2003年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,166円 対象株式数 121,000株 | 2003年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,166円 対象株式数 116,000株 | 2003年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,166円 対象株式数 117,000株 |
| 2004年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,370円 対象株式数 98,000株 | 2004年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,370円 対象株式数 92,000株 | 2004年6月24日株主総会決議の新株予約権(ストックオプション) | 行使価額 4,370円 対象株式数 93,000株 |

5. 生産、受注及び販売の状況

当社では当第1四半期連結会計期間よりセグメントを「派遣事業」「エンジニアリングソリューション事業」「グローバル事業」「キャリアサポート事業」の4つの区分により表示しており、そのセグメントごとによりますと次のとおりになります。
なお、前年同期比については、当第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分を変更したために、比較を記載しておりません。

(1) 生産実績

(単位:千円)

| 区 分 | 金 額 | 前年同期比(%) |
|--------------------------------------|------------|----------|
| 派 遣 事 業 | 15,768,208 | |
| エ ン ジ ニ ア リ ン グ ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業 | 660,492 | |
| グ ロ ー バ ル 事 業 | 92,556 | |
| キ ャ リ ア サ ポ ー ト 事 業 | 1,582,830 | |
| 計 | 18,104,088 | |

(注) 1.上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社の事業については、事業の形態から受注金額と販売金額がほぼ同等となるために記載を省略しております。

(3) 販売実績

(単位:千円)

| 区 分 | 金 額 | 前年同期比(%) |
|--------------------------------------|------------|----------|
| 派 遣 事 業 | 18,879,528 | |
| エ ン ジ ニ ア リ ン グ ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業 | 605,674 | |
| グ ロ ー バ ル 事 業 | 44,889 | |
| キ ャ リ ア サ ポ ー ト 事 業 | 1,530,654 | |
| 計 | 21,060,746 | |

(注) 1.上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

2006年3月期(連結)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|--------------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| | 2005年4月~2005年6月 | 2005年7月~2005年9月 | 2005年10月~2005年12月 | 2006年1月~2006年3月 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 売上高 | 19,909 | 20,814 | 21,007 | 21,492 |
| 売上総利益 | 6,031 | 6,600 | 6,881 | 7,025 |
| 営業利益 | 2,595 | 3,339 | 3,296 | 3,253 |
| 経常利益 | 2,621 | 3,375 | 3,324 | 3,241 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,599 | 3,378 | 3,373 | 1,514 |
| 四半期純利益 | 1,278 | 1,972 | 1,961 | 89 |
| 1株当たり四半期純利益 | 33.71 | 52.31 | 52.95 | 0.76 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 33.70 | 52.31 | 52.94 | 0.76 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 総資産 | 66,267 | 68,366 | 64,376 | 67,185 |
| 株主資本 | 49,179 | 48,159 | 46,558 | 46,668 |
| 1株当たり純資産 | 1,296.73 | 1,299.99 | 1,274.68 | 1,274.10 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 225 | 4,457 | 1 | 5,133 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 302 | 198 | 224 | 152 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,135 | 3,168 | 3,728 | 72 |
| 現金及び現金同等物四半期末残高 | 15,209 | 16,311 | 12,376 | 17,275 |

2007年3月期(連結)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|--------------------|-----------------|-------|-------|-------|
| | 2006年4月~2006年6月 | | | |
| | 百万円 | | | |
| 売上高 | 21,060 | | | |
| 売上総利益 | 6,439 | | | |
| 営業利益 | 2,956 | | | |
| 経常利益 | 2,931 | | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,944 | | | |
| 四半期純利益 | 1,651 | | | |
| 1株当たり四半期純利益 | 45.20 | | | |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 45.19 | | | |
| | 百万円 | | | |
| 総資産 | 63,218 | | | |
| 純資産の部 | 46,692 | | | |
| 1株当たり純資産 | 1,272.67 | | | |
| | 百万円 | | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,546 | | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 78 | | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,684 | | | |
| 現金及び現金同等物四半期末残高 | 13,976 | | | |